

# DNSSECがやってくる 権威DNSサーバへの導入

(株) NTTPCコミュニケーションズ

高田美紀

[takata@nttpc.co.jp](mailto:takata@nttpc.co.jp)

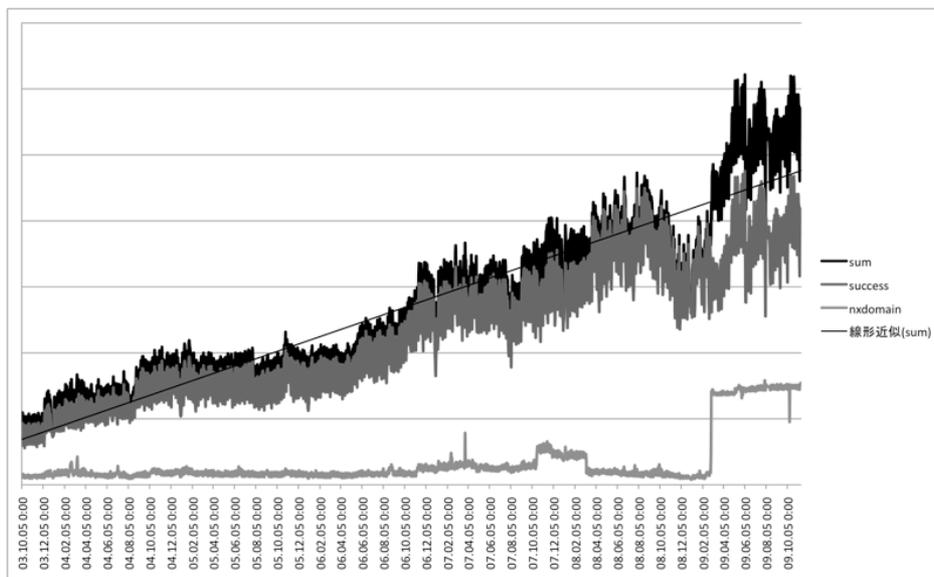
## サーバ対応

- BIND
  - 9.4.3-P2, 9.5.1-P2, 9.6.1, or later
  - options { dnssec-enable yes; };
- 時刻同期
  - ntp等で適切に。

# リソース

- 65,000zone, 268MB
- 全部にsignすると。
  - 2GB
  - sign時間
  - bindの起動時間
  - その他

# query数の増加



# パケットサイズ

- 1queryあたりのパケットサイズ比較
  - before:  $82+191=273$ bytes
  - after:  $82+867(\text{DNSKEY})+82+972(\text{RR})=2,003$ bytes
  - 7.3倍。DNSKEY抜きでも3.9倍
- 段階的な導入

# 署名、鍵の登録フロー

- コンパネツール
  - https
  - 鍵生成ボタン、KSK表示
- レジストリへKSKを登録
- コンパネにてdlvレコード登録(DLV)

# 検証失敗

- 検証に失敗した場合
- SERVFAILが返る
  - RRがきちんと設定されていても
- キャッシュには古い鍵があるが、権威サーバ側には新しい鍵しかない場合等
- キャッシュ/権威サーバの切り分け
  - DNSSECによるものなのかどうか？

# 鍵の更新フロー(1)

- ZSK/KSK支配下のRRSIG TTL切れ前に新しい鍵ペアを作成、その鍵で署名
- 古い鍵が必要なくなった時点で削除
- ZSKはゾーン内で閉じているので他への影響はない
  - 2つ鍵を作り、片方で署名、両方を公開
  - 好きな時に新しい鍵で署名
  - 古い方のTTLを過ぎたらゾーンから削除

## 鍵の更新フロー(2)

- KSKの更新には親への届けが必要
  - 2つのDSなりDLVが親にある状態
- 更新時の注意点
  - セカンダリの確認
  - 鍵長と更新時期の設定
  - 更新の自動化は難しい?

## そこまでやっても。。

- エンドユーザにDNSSEC検証が成功したことを知らせる術がない
- FireFoxのAdd-Onで検証結果を見せてくれるものがある
  - <http://labs.nic.cz/page/691/dnssec-add-on-for-firefox/>
  - httpsの鍵マークとの違い
- ほかにはメールヘッダくらい?

# まとめ

---

---

- レジストリへのDLVやDSの登録インターフェースはまちまち
- 鍵の更新、移転に混乱を生じる懸念
- DNSSEC単体では売れないだろうけど、証明書屋さんと組むといいかも(?)